



発行／青森県立自然ふれあいセンター 〒038-1301 青森県青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢 1-1
 TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510 URL <http://www.bonjyu-furesen.info/> メールアドレス bonjyu@jomon.ne.jp

□ 行事レポート □

- 梵珠作品展
10月1日(土)～10月30日(日)



- 梵珠の森 秋のふれあいデー
10月8日(土)・9日(日)



- 紅葉トレッキング 梵珠山～松倉神社～梵珠大滝
10月23日(日)



- 自然まるごと発表会・特別講演会
11月6日(日)



- 梵珠の森クラフト教室～正月飾り作り
12月4日(日)



- 野鳥観察会 田光沼・廻堰大溜池
12月11日(日)



●チゴユリの繁殖は二段構え

齋藤 信夫（青森自然誌研究会）

チゴユリを漢字表記すると「稚児百合」だという。稚児だから子どもの百合ということだろうが、個人的には小さな百合くらいに受け取っている。このチゴユリは丘陵や山域の林床に生える草丈20～35cmほどの小さな百合で、茎の先に白い花をやや斜め下向きに咲かせる。花期は5～6月頃といえようか。草丈や花色からして、そんなに目立つ野草ではなく、見逃していることが多いかも知れないが、場所によっては群生することもあるので、花期にそのような光景に遭うと、可愛らしい野草だとのイメージが固定されそうな気がする。梵珠山では登山道沿いのいたるところで私たちを待っていてくれる。ただ、花期を過ぎると、草丈からして再び見逃される野草の仲間入りをしてしまう。

そんなチゴユリだが花の数、そして全体のスタイルには生育場所により違いがあることが分かる。花の数では1花が多いが2花の個体もある。全体のスタイルでは真っ直ぐな茎が多いが途中で二分する個体もある。そして、場所によりそんな違いのある個体がそれぞれ集中する傾向がある。要するに1花の集団に2花の個体が混ざること多くなく、真っ直ぐな茎の集団に二分する個体が混ざることさほど多くはない。加えて、花後、果実が熟すまで茎の先

に残っている個体もあまり多くはないように思う。チゴユリの果実は濃紺色の小さな球状の果実である。きっと、開花数の割に果実数が少ない植物といえるのかも知れない。

ところで、チゴユリが仲間を増やすには、地下に伸ばしている走出枝から新たな個体を発生させる方法が主で、種子での増殖は補足的だという文章を目にしたことがあった。走出枝が中心ということは、新しい個体は親の持っている遺伝子組成をそのまま引き継ぐのだから、1花は1花、2花は2花、単茎は単茎、分茎は分茎のまま増えるということだ。このように親の特徴を完全コピーで残していくという手法は極めて優れているといえるが、ただその手法は、著しい環境変化や病気が蔓延した時にはマイナスにはたらし、種の消滅につながる恐れがあるといわれる。そこで登場するのが種子形成での増殖というわけだ。有性繁殖の結果創出される種子の遺伝子組成は千差万別で、環境変化や病気に対し耐性を有する個体が出現するチャンスが出てくるというものである。

チゴユリという小さな野草も、種の維持のためにいろいろ工夫しているのだということをもざまざと見せつけてくれる。自然界には驚かされることばかりである。



林床に咲くチゴユリ（2020年5月12日）



チゴユリの果実（2012年9月28日）

生物ごよみ(昨年)		1月		☀️☁️☔️☁️: 天気		℃: 日最高気温 (月最高気温)		低: 日最低気温 (月最低気温)																								
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
観察できたもの	休館日	休館日	休館日	休館日	エナガ・カケス	リス	ヤマガラ・シジュウカラ	ヒヨドリ・カワガラス	リス	ヤマドリ	カモシカ・キツネ	テン	サル	ヒヨドリ・コゲラ・エナガ	カワガラス・ヒガラ	ヤマガラ・ゴジュウカラ	ヤマガラ・ヒガラ	テン・サル	ヤマドリ・アオゲラ・カケス	ウサギ・キツネ・テン	リス・ミソサザイ・コガラ	ツグミ・リス	ツグミ・アトリ	カモシカ	セツケイカワゲラ	ヤマドリ・マヒワ	コゲラ・ヤマガラ・エナガ	リス・テン	ヒヨドリ・マヒワ・エナガ	アオゲラ・サル	カワガラス・シジュウカラ	
天					☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	
℃																																
低																																

～気象計故障～

●多くの種類があるブナの虫こぶ

市田 忠夫 (津軽昆虫同好会)

マザーツリーとも呼ばれるブナは、多くの虫こぶが見られる樹種である。特に早春のブナに見られるブナハツヤタマフシや、ブナハアカゲタマフシは美しいものである。しかし、残念ながら、ブナハツヤタマフシの写真は探しても見つからず、お目にかけることができないことから、なんとも歯がゆい思いである。

ブナの虫こぶで多いものは、円錐状のツノフシと総称されるもので、暖候期を通して葉に次々と形成される。それらは、一見似ているものの、良く見るとプロポーションや虫こぶ表面の凹凸感、円錐の長さや太さが種によって異なるため、丁寧に見れば見分けることができる。

さて、早春から出現する虫こぶがある

だけでなく、そろそろ落葉も近い時期になり、やっと出現する虫こぶもある。ブナハウラコメツブフシである。

先年不慮の事故で亡くなられた昆虫愛好家の阿部東さんから「弘前市の市街地で植栽されたブナに虫こぶのようなものが見られるので見に来ませんか」とのお誘いがあり案内していただいたところ、ブナハウラコメツブフシであることを確認しました。その後、黒石の山でも探したところ簡単に見つかりました。いずれにしろ阿部さんの慧眼は、昆虫の愛好家として素晴らしいものでした。



ブナハアカゲタマフシ



ブナハウラコメツブフシ

生物こよみ (昨年)		2月		☀️☁️☔️☂️: 天気		℃: 日最高気温 (月最高気温)		低: 日最低気温 (月最低気温)																				
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
観察できたもの	セツケイカワゲラ	カモシカ	マヒワ・ヒガラ	アオゲラ・ベニヒワ	シジュウカラ	エナガ	ヒヨドリ・カケス	ウサギ	カワガラス・アオゲラ	ヒレンジャク	アオシギ・ツグミ	タヌキ	ヒレンジャク	デン・タヌキ	アオゲラ・ヒレンジャク	ゴジュウカラ・カケス	サル・タヌキ	カモシカ	ヤマガラ・オオアカゲラ	クマタカ・ヒヨドリ	アカゲラ・アオゲラ	オオタカ・エナガ	カケス・ウン	コゲラ・ゴジュウカラ	アオゲラ・ウン	タヌキ・キツネ・デン	ウソ・マヒワ	シジュウカラ・ツグミ
天	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
℃																												
低																												

~気象計故障~

●キバナアキギリ【黄花秋桐】シソ科

長尾 キヨ（津軽植物の会）

秋、梵珠山での楽しみは「山のサルビア」ことキバナアキギリに出会うことである。

黄花秋桐つまり黄色い花をつけ、秋に咲く桐に似た花という由来がある。ちなみに春に咲く桐は、キリ科の落葉高木で紫色の花をつける。

キバナアキギリは山の木陰に生える多年草。茎は四角で草丈20～40cm。花は8月下旬から10月に開き、茎の頂きに花穂をつける。花穂の長さは10～20cm、鮮やかな黄色の唇形でシソの仲間だとすぐ分かる。スキの穂が出そろった頃が盛りとなる。

キバナアキギリの学名は「サルビア・ニポニカ」で日本のサルビアという意味。

夏から秋の花壇を鮮やかな赤で染める園芸種のサルビアもいいが、山のサルビアは秋風が吹き始めると静かに咲き出す。そして我々愛好者を喜ばせてくれる。

中部～近畿地方の一部に自生するアキギリは、キバナアキギリとよく似ているが花は青紫色であるという（図鑑でしか見たことがない）。

サルビアの仲間には薬用になるものが多く咽喉炎・歯根炎にうがい薬として用いる。血液循環をよくし体調を整える効果があり、疲労回復・強壮などに用いる。現在ではハーブとしてソース・ソーセージなどの香味料として使用される。花が美しいので観賞用としても栽培される。

キバナアキギリはサワグルミコースで見られ、六角堂付近で特に多く、最盛期のころは実に壮観である。

梵珠山では数多くの植物を見ることができ、キバナアキギリは県内での分布が非常に限られているものなので、梵珠山の貴重な植物といえる。



キバナアキギリ



群生するキバナアキギリ

生物こよみ(昨年)		3月		☀️☁️☔️☁️: 天気		℃: 日最高気温 (月最高気温)		低: 日最低気温 (月最低気温)																							
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
観	ツグミ・ヤマドリ	ヤマドリ	コガラ・ヤマガラ・ヒガラ	シジュウカラ・コジュウカラ	コゲラ・アカゲラ	カモシカ	ヒヨドリ	カケス・ヒヨドリ	アオゲラ・カケス	ヤマドリ	タヌキ	ミソサザイ・カワガラス	サル・テ	サル・コガラ・ヒガラ	カモシカ	ヤマドリ	キジバト・ホオジロ	ウソ・エナガ	ヤマドリ・ミソサザイ	ツグミ・カワラヒワ	ホオジロ・マヒワ	ミソサザイ・シジュウカラ	カモシカ・オオアカゲラ	アカゲラ・ヤマドリ	ミヤマホオジロ・ミサゴ	ノスリ・カシラダカ	ホオジロ・カワラヒワ	マルバマンサク	ヤマアカガエル・クマタカ	キセキレイ・ヤマドリ	
天	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	
℃																															
低																															

～気象計故障～